

令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月 25 日
札幌市立前田北小学校

1 学校経営の重点目標

ひびきあい 笑顔いっぱい 前北小

2 重点目標が目指す子どもの姿

しなやかな心と健やかな体を持ち 仲間と共に 楽しく学ぶ子の育成

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

| 分野 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価 | |
|--------|---|------|--|----------|---------|
| | | 達成状況 | 評価の理由と改善の方策 | 自己評価の適切さ | 改善策の適切さ |
| 学ぶ力の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学習に取り組むことができたか。 ・学んだことを振り返り、成長を感じることができたか。 ・授業創造部 ・教育課程委員会 ・情報委員会 | A | <p>学んだことを振り返る項目については、年度末評価アンケートにおいて、肯定的な評価(子ども 90% 教職員 100%)が子ども、教職員で90%を超えた。昨年度から、学校として力を入れて取り組み始めた「振り返り」を次の学びに生かすことによって、子どもは、自分の成長や伸びを感じ達成感をもつことができていた。特に、算数の学習を中心に各学級担任が意図的に「振り返りを紹介する」ことから授業を導入する等の方法で、一人一人が問題意識を醸成し、子どもの思いがたつがる学びとなった。</p> <p>進んで学ぶ項目については、子どもは高い数値を維持しており、年間を通して、主体的に学習へ向かう意識が安定していた。一方、保護者の評価も変化はなく、家庭から見ても学習へ向かう意識が一定程度継続したと捉えることができる一方、「もっと進んで学習を」という願いもある。全校家庭学習に取り組んで9年目となる次年度だが、学ぶ習慣を「ねらい」に据えて、家庭学習がより定着するように計画を練り直していくことで、学校だけでなく家庭でも進んで学ぶ姿勢を伸ばしていきたい。</p> | A | A |
| | 学校関係者評価委員による意見 | | <ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを振り返ることはとても大切です。それが習慣になっていけば目に見えて成績にも表れ、自分の成長と達成感にも繋がっていきます。個性を大切にしてください。 ・AAR の観点からも、振り返りを次の学びに生かしていることはとても良いと考えます。 ・今後も高い数値を維持できるよう期待しています。 | | |
| 豊かな心の育 | <ul style="list-style-type: none"> ・人のよいところを、見つけようとする事ができたか。 ・人の役に立ちたいという思いをもつことができたか。 | A | <p>どちらの項目も年度末評価アンケートにおいて、肯定的な評価が三者全てで 85%を超えた。子どもは、学習発表会(行事)、体育大会(行事)等の行事や、係や当番の仕事等の日常生活の中で、仲間のよいところを見つけ、認め合い、協力して取り組めたという思いをもつことができていた。保護者も、昨年同様、家庭や地域で徐々に子どものコミュニケーションがあたたかくなっていると感じている意見が挙がっていた。</p> <p>また、高学年は人の役に立てて嬉しい、そのような人間になりたいと</p> | A | A |

| | | | | |
|-------------------|--|--|----------|----------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・活動創造部 ・生活創造部 | <p>いう肯定的な思い(5年生 100% 6年生 96%)が強い。高学年児童全員がひびきあい活動に自ら携わることは、肯定的な評価が 96%を超えた要因と考える。</p> <p>次年度は、「他者意識」を高め、挨拶や廊下歩行の取組がさらに広がり、豊かな心を育てていきたい。</p> | | |
| | <p>学校関係者評価委員による意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶は自己肯定な心を育てます。「ひびきあい活動」は無意識に子どもたちが互いを認め合い協力する心が育っています。前田北小学校の良き伝統をいつまでも残すことが大切です。 ・認め合うことが、多様性に繋がっていくことと思います。 ・挨拶、廊下歩行の取組が広がってほしい。 | | |
| <p>健やかな体の育成</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・体を積極的に動かすことができたか。 ・生活習慣をよりよくしようと考えることができたか。 ・生活創造部 | <p>B</p> <p>体を動かす項目については、中間、年度末評価アンケートにおいて、肯定的な評価(子ども 87% 保護者 85% 教職員 94%)が三者全てで継続していた。教職員間で、運動が好きだが動きを持続する力が課題である本校児童の様子を受けて、教職員一体となって取組をスタートした「運動の日」を通じ、運動の楽しさと体力増強の接続図りを図ったことが効果的であったと考える。次年度は、今年度の取組を進化させ、子どもに運動の必要性を感じられるよう教職員間で指導方法の交流を行っていく。</p> <p>一方で、生活習慣の項目については、年度末評価アンケートにおいて、肯定的な評価(子ども 79% 保護者 62%)が 80%を超えなかった。今年度からノーメディアデーを全学年で取り入れ、自らの生活習慣を見直す機会を設けた。評価の数値は低いですが、それは生活習慣を整えていく意識が芽生えてきたとも捉えることができる。次年度は、年度の始まりや学期の始まりに学級・学年で「生活習慣」とは何かを具体的に考え、子ども一人一人が自分に合った目標を立てていけるよう指導していく。それと共に保護者や教職員間の大人も意識して声かけ、支援できることは何か、交流等行っていく。</p> | <p>B</p> | <p>A</p> |
| | <p>学校関係者評価委員による意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「運動の日」の設定は良いと思います。運動の日のために何か練習や努力するものがあるとよいです。また少しでも SNS(携帯、スマホ)の利用から距離を置くのがよいです。 ・「運動の日」を設定して取り組んでいることはとても良いと思います。 ・次年度も引き続き、取組を期待します。 | | |
| <p>信頼される学校づくり</p> | <p>学校は、保護者や地域と連携し、いじめにしっかりと対応する学校づくりを進めることができたか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程委員会 ・いじめ防止対策委員会 ・学びの支援委員会 | <p>A</p> <p>いじめへの対応は、シャボテンログによる毎日の子どもの心と体の健康の把握、いじめ防止対策会議を毎月開催しいじめの認知や解消の件数及び認知した個別の対応状況の確認を中心に行ってきた。また年2回の学校独自のあったかアンケートや、年 1 回の悩み・いじめアンケートによる子どもの困り間の把握によって、いじめの兆候や認知力を高めていくこともできた。</p> <p>必要な場合は、関係機関との連携、子どもの話を聞き取る場合は教職員は複数体制等で、常に子どもを支援する体制づくりに取り組むことができた。</p> | <p>A</p> | <p>A</p> |
| | <p>学校関係者評価委員による意見</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・いじめは大人の社会にもあります。やはり担任の先生と子どもたちとの信頼関係が大切です。様々な面からの視点が大切です。不登校に繋がらないようにすることが大事です。一人で悩まず仲間相談を！ ・学校独自のあったかアンケートというのがとても良いと思います。 ・いじめなどがなくなるように、あってもすぐ対応するようにお願いします。 | | |

| | | | | | |
|-------------|---|---|--|---|---|
| 安心・安全な学校づくり | <p>学校は、教育環境の定期的な点検や整備を行い、安心安全な学校づくりを行うことができたか</p> <p>・信頼創造部 ・危機管理委員会 ・プール運営委員会 ・学校保健委員会</p> | A | <p>教育環境については、日常の環境点検や整備を全教職員で行ってきた。特に学期末には、担当場所を決めて、徹底的に教材整備を行う等、子どもの教育活動が、安全に、そしてよりよいものになるように努めてきた。</p> <p>また、危機管理委員会では防災教育計画を見直しをかけた。また今年度から4年生の総合的な学習で「防災教育」を取り入れることで、教科と防災の関連を進めていくことができた。次年度はコミュニティスクールを通じ、前田北中学校ともさらなる防災教育の連携を図ってきたい。</p> | A | A |
| | <p>学校関係者評価委員による意見</p> | | <p>・最近では建物の老朽化のための事故が目につきます。前北小も昭和56年開校で50年近くになり、心配になります。防災訓練を含め、形骸化が言われています。実践に近い日々の訓練をお願いします。</p> <p>・「防災教育」への取組がスタートし、授業として実践的な指導や、子どもたちが考える良いきっかけをなっていると伺い、素晴らしいと感じました。前田北中との連携を図ることに加えて、地域(町内会)との連携強化にも今後、期待したいです。(PTAも含めて)</p> <p>・防災教育について連携を図っていただけるとよいと思います。</p> <p>・防災教育を取り入れたことはよかったですし、前田北中との連携も積極的に行ってください。</p> | | |
| | <p>その他の御意見</p> | | <p>・CS会議にて、丁寧で分かりやすい説明をしていただきありがとうございました。</p> <p>・子どもたちの携帯を通じた利用 AI 利用が大きな課題となっています。ある国では15歳未満の利用を制限しています。特に SNS では、あらゆる情報が氾濫しています。学校においても大きな課題となっていると思いますが、その利用方法について正しく、時間を限って利用するように指導をお願いします。</p> <p>・今年5月1日から自転車の利用が大変厳しくなります。15歳以上となっていますが、子どもたちへの自転車の手出し居乗り方への安全教育をお願いします。</p> | | |